



〈自分（たち）でつくるみんなの学校～日本一美しい学校を目指して～〉

成美っ子



学校だより 令和4年度No.3

委員会の活動から 「真のあいさつとは」

第5学年担任 水上 貴哉

委員会活動では、よりよい学校にするために、子供たちが主体となり、様々な活動を企画・運営しています。私は今年度、運営委員会の顧問となりました。運営委員会では、よりよいあいさつが学校中に広がるよう、あいさつ運動を活動の中心として行っています。

新年度のメンバーで委員会が始まり、しばらくたったころ、運営委員会の子供たちと一緒に玄関に立ち、あいさつ運動をしていました。すると、「先生と一緒にあいさつ運動をしていると、いつもよりたくさんの人たちがあいさつしてくれました。これからも、先生はあいさつ運動に参加されるんですか。」と子供から尋ねられました。私はてっきり、「これからも一緒に参加してください。」と言われているのだなと思ったのですが、その子供の次の言葉は違っていました。

「自分たちの力で、みんながあいさつできるようにしたいので、先生は来ないでください。」まさかそのような言葉が返ってくるとは思ってもおらず、驚くのと同時に、子供たちの力を見くびっていた自分を恥ずかしく思いました。先生がいるからあいさつをするのではなく、子供たち同士であいさつをし合う学校にしたいという強い気持ち（考え）や、相手が誰であれ、自分の意見をしっかりと伝える姿に感動を覚えました。

後日、運営委員会の子供たちは休み時間に集まり、どうすれば学校中にあいさつが広がるか話し合いました。今、委員長と副委員長は、玄関でのあいさつ運動が終わった後、全クラスを一つ一つ周り、「〇年〇組のみなさん、おはようございます。」と、元気な声であいさつをしてから自分の教室に戻るようにしています。また、ボランティアの意識を全校に広めたいと考え、まずは自分たちからと、落ち葉掃きをしながらあいさつ運動を行っています。

よりよい学校になるよう、他の委員会でも、アイデアを出し合い、様々な活動を行っています。こんな力をもった子供たちがつくっていく、これからの成美小学校が、どんなすてきな学校となっていくのか、楽しみでしかたありません。

